

子どもと百人一首あそび

監事をしている子育て支援の法人で、学童保育を実験的に行いました。いつか子どもたちと百人一首をやってみたいとはじめの一步を踏み出しました。

☆子育て支援

この法人はコロナ禍に突入した2020年3月にオープンしました。乳幼児の保育所です。もちろん、一時預かりもします。代表にお話を聞くと、本当にさまざまなママやパパの子育て事情があり、特に一時保育の重要性が伝わってきます。

祖父母が近くにいて子どもの面倒を見てくれる、というのは昔ばなしなのだと思います。にいられません。

☆実験的に学童も

子育て、といえは1年生の壁、4年生の壁問題があります。小学校に入学すると下校時間はとっても早い。この時間に預かってくれるところがなくては、親は仕事なんてしてられません。学童になんとか入った、と思っても、学童は3年生まで。その後はどうするの？子どもを一人で家に置いておくなんで…。とこれも心配です。

それで、仕事をやめてしまう親（主にママ）がいるのです。

☆百人一首で文化に触れる

そんな思いで始める学童。さまざまなメニューを用意しました。その中で担当したのが、哲学カフェ、まちたんけん、そして百人一首（坊主めぐりをしよう！）というのがテーマでした。

小学校1年生～4年生の子どもたちに坊主めぐりをしたところ、呑み込みが早く、すぐに飽きてしまいました。

「本物をやりたい！」というリクエストにお応えしたのですが…。やはり難しかったらしく早々にリタイアされてしまいました。

最後に、絵札で神経衰弱をしました。これは、なかなか飽きることなくできました。子どもたちの想像力に合わせて、伝統文化に触れてもらう！という第一の目標は達成しました。少しずつ、歌を詠む！に近づけていく作戦を考えていきます。

*百人一首に登場する坊主、公家、武士、姫。この違いをパッと見て見分けられるようになったので、まずは成功！と思っています。初めて百人一首を開いたときの子どもたちの目がキラキラして印象的でした。

